



明  
洋  
總  
督  
府

海  
迎

宰  
壇  
大  
將  
卜  
東  
京  
市  
長

四  
初  
丁  
丑  
年  
一  
五  
日

特 別
又6
8490
1864

早稲田大学図書館



(小葉納)

宇垣大將ト東京市長

牛塚市長任期満了ト共ニ後任市長  
ニハ總理大臣級ノ大人物ヲ以テ為スニシト  
ノ論 四月下旬既ニ新聞紙上ニ表  
ハシ 宇垣大將ヲ据ヘルニシトノ記事  
モ散見ス

大將ハ五月六日日本青年協會岡西  
道場落成式並ニ京都支部講習ノ  
為ニ旅行ノ出立 五月十四日歸京セ  
ラル 秋既ニ市長第一候補トシテノ  
定評 專ラ市政會、革正會ハ一致  
宇垣大將ヲ推挙 一部 北大黨ハ

# 時の人として 宇垣さん出處



## 果して市長の椅子 に坐れるか

伊豆長門の陣に關雲將軍を友として悠々自適してゐた前朝時、機曾陸軍大將宇垣一成氏が約半歳振りで「時の人」として草履を  
出て来た牛車市長が椅子を去つ

て果して誰がその跡に據はるか下馬評議であるがこの政界のダイクホース管つては前出の内閣総辭職後の後藤内閣の首班として組織の存続を命ぜられたりしながら時運非にして遂に挫折し悲憤の血涙を呑んだまゝ沈黙を守つて今日に至つた事は非常に此の同情を喚び惹き名譽ある東京市長候補として提せられてゐることはいかに同氏が其の蘇るたる過去の功業偉勳に對し否

識見、人格、手腕に對し世人の期待の大きいかを雄辯に物語つてゐる、同氏が君國に報ゆるの途は何も廟堂に起つて皇座を覆すばかりではない、繁華の下世界第二六百萬の人口を誇る吾東京市も來るべき千九百六十年の世界オリムピック大會を三年後に控へて眞に多年多難の折柄同氏のやうな偉大な人物を市長に推挙することはやがて吾輩に於て東市の市政を革新する意味に於て衷心より歡迎するものである、併し單に自己の政治的晩節を飾らんがための如き閉々たる小節に囚はれるなくあくまで理想的大都市建設の抱負の下に積極的奉公の念に燃れて自ら進んでこの難局に當られん事を切望してやまない

五報五 五五五 報刊

丸山鶴之、田川共太郎、安部磯雄氏ヲ  
推薦 暗黙裡ニ調停開始セラレ  
宇垣大將第一候補トシテ冬新開  
通信社ハ記者ヲ大汰勤セシメ  
野頭ニ或ハ池田候爵中 四谷私邸  
ニ張上マシムル等 準備总リナシ

駐 池田候爵邸ハ顧問會開催ノ

夕メ出立也 (午後三時三十分品川縣着)

直午二午後九時十分飯取セラレ

五月十日 大將ハ國立ルヲ靜養中ノ処  
東京市會ヨリ「只今東京市長ノ採決  
ヲ教シマシテ知事垣大將總督ヲ數ニ付  
之シヨリ參事ヲ教及ハ午後四時五分トノ電  
誌ヲ渡シ受ケ直ニ閣下ニ申伺致シテ  
ハ知事明日ハ家族同ニテ遠足致度申急ヤ  
ナラスハ明後日四時ニ赴キ申付其前會  
見致度併ニ申急ヤナラハ遠路申足勞  
ヲ願ヒ恐縮ナシ共申待テ致シテ居リマス  
トノ返事ヲヤセトノストニ付其旨市會ニ通  
知シタル処特別急用ニ付之レヨリ海長、副  
海長並ニ市會莊衛委員トシテノ代表

五名中何れが正トノ回答アリ 漸ク中  
 東京各新聞通信記者 寫真部員等  
 立川歩道外通信員 今之午二十三名 妻島  
 ノ白馬車合之午二十三名 午後五時十五分  
 之ノ別邸着用 並ニ之應接内之扱ニ會  
 見行ハル 午後六時 會見終了 正式  
 回答リ 十七日午後四時 於テ致ス者約ニ  
 終リテ 新聞通信記者ト會見 會談様  
 様ヲ決シ 約ニテ 午後六時 會見  
 此ノ日 國立リ晴天 新緑未如 満喫ノ批  
 評ニ 終肉者 如ク 感アリ 嚙 申 申  
 武蔵野ノ草亦 如ク 偉容ニ 接シ  
 タハントナラン

(小葉納)

# 市長就任交渉に

## 宇垣 大將 考慮を約す

### 十七日に正式回答

午後四時、市会議員會は回を重ねること五回、ついに十五日午後四時、大將を推す政界兩派は同日社會大衆黨が推出した黨首安部磯雄氏並びに先に無所属會派から



市會 大衆黨の意思は期せずして閣下の出馬を願ふことに決定しました。閣下に對しては

とは誠に感荷に堪へない、しかし自分は何分にも市政とか自治體とかについては一向経験もなければ何等の自信もない、どうもやつて行けるか見當さへつかない、實は新聞紙上などで私に關する話などがあつたので、この以來熟考して見たのだが、この際お断りする。

會見 三十分で代表者達は辭去した、大將の回答は大體十七日午後四時の本報に代表者が再度訪問の進行はれるものと見られてゐるが、大將の腹心今井田博氏なども大將の心をよくみてゐる節もあり大將の心算もよく動いてゐるやうに見える。(書面は委員代表と會見した宇垣大將一中央)

何回でも懇請 松永議長談 なか、簡單に申す、大將一議では大將の出馬を願ふとは不可能だ、今後何回でも閣下に對し懇請を絶えずつもりだ

# 都新聞

讀者と記者 宇垣出でよ 三流市長眞つ平

東京市會の市長選挙委員會は一昨日、東京市長に宇垣大將を推薦するらしいといふ、結構なことである、だが本人は、四流の情勢を顧慮し辭退するかもしれないと噂されてゐる、これはよくない、推されたら、私情を棄て万端を探して出馬せよ、といつて彼等は別に、宇垣が出ることに依りて、市政が明瞭となり、市民從來の隠弊な部分が一掃される等と思つて

をらぬ、だが船し、何といつても東京市は依舊、複雑な状態で、二派や三派の更張が、手帳もなくたゞ市會の機嫌ばかりとつてゐた日には、眼も當られぬ始末となつて了らう、そんなデカ市長でも辭める段になると、噂や噂はすの市民を尻目に十方腹もせしめてゆかうといふのだ、あきれ物か言へん、せめてこんな時、強力的に觀察と戦つて、とも角與論と同志とのために戦ひ通し、遂には「大將選挙」まで出た心意氣の宇垣の方が、腕がスッキリするではないか、大將を切つて一殿と男を擲つた彼であつて見れば、まさか感い事もしまい、それに來るべきオサムビツク、万國博などに際しても、眞誠充分と云へやう、一こんな意味で宇垣の出馬は成だ、だが、中には彼の推薦をアテ馬だの言も出て來た、市會のマス共がまた奮動してゐるのだらう、市民諸君よ、警戒する必要もあるよ愛市生その他)

市民の聲として宇垣氏に取次ぎ又市會議員諸君の考慮をも求めます(記者)

山縣吉彌氏の各市長候補を向ふに、山縣氏に對しては、宇垣大將十三票、安部氏三票、田川氏一票となり、宇垣大將の推薦を大衆黨を以て決定したので直ちに安部、樺の市會正副議長を初め政界兩派並びに市會新聞記者の記者委員代表七名は午後四時二十分自來車に分類して市會所を出席、閣下は別荘に宇垣大將を訪問した、先づ松永議長から閣下大將の推薦決定に至るまでの經過を詳細に報告し、各代表委員から「ごめん」東京市會は今や大革新を要する時であり、また三年後には東京市會の事業を控へ大飛躍をなすべき時機に直前してゐます、こ

# 高尾山上で熟慮一番

## あす市長就任を確答

### 交渉委員と正式會見

▽字垣 大將の市長就任も十五日午後開かれた市會の臨時會で十七票中十三票の過半数で議が通り、交渉委員となった松永議長、林議長、松崎、有馬、磯本、安部、道家の七氏は国立の別荘に開會中の大將に、電話で會見を申込み三蔵の自動車に分乗申出直を一路国立へ急ぎ字垣大將の出馬交渉を陳明した

▽この 福四谷内閣の私邸を出た大將は昨年買入れたまま一度も乗る機会がなかったアラブ系の愛馬「しまはな」にゆつたりと打ち寄り、武蔵野の緑木林を遊覧してゐた

役不足ではありませうが市會前に六百萬市民の輿論を推察の上閣下の御出馬をお願ひした

との動機に一度は首を縦に振つた字垣さんも「閣下に断られてはこのまゝ、歸る路にはゆきません」と強引な態度四十分で始めて交渉の前進にバツと光明を見出した

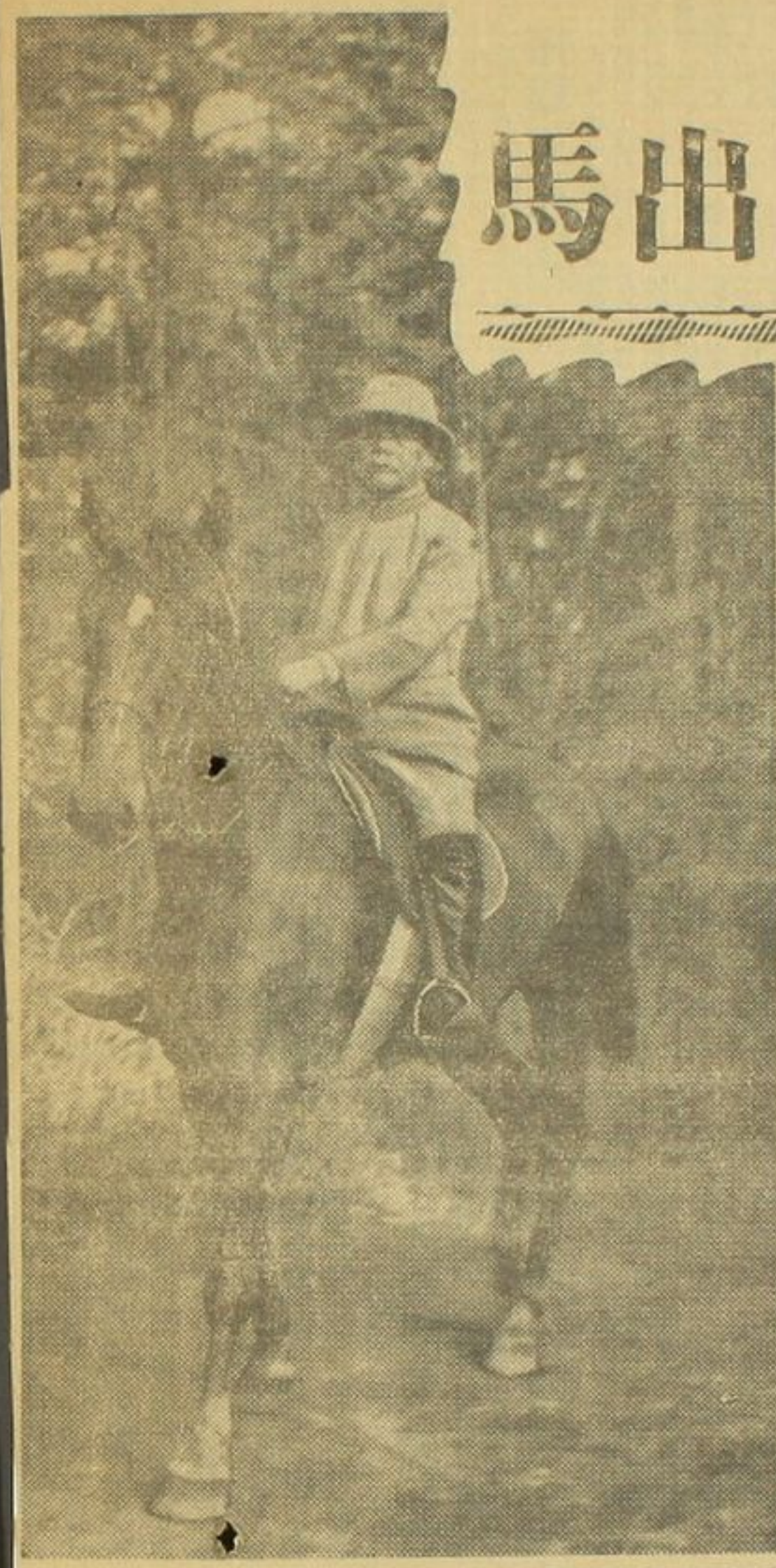
▽委員 議を切懸まで送り送した大將は

大東京の市長になれといふので無上の光榮だ、後任市長の呼び聲に我輩の名前が出るので若しこれが具體化した場合は如何に自分が誇すべきかに就いて昨日來考へてゐた、東京市は日本の首都であり且つ近き將來には澤山の大事業を遂へ、市政の運用も盛かしくなるので、これまで何等自衛の経験も知識もない我輩が市長に成つたとして果して市民の期待に副ひ得るやこの點の確信がないので「先づお断りをしたのだが、交渉委員の諸氏から重ねて熱烈な就任の懇望があるので、一兩日熟慮しよう」と回答した、承諾するかしないかアアとした高尾山に向つてゆつくり考へて見ると

▽その 露色から見るとまづ市長就任は〇・Kらしい、日曜日をゆつくり考へて大將の返事は明十七日に聞かれるわけ、一方松永議長は

字垣大將を説き落す途には相當困難があると思ふが我々の誠意を成慮してぶつつかれば望みがないとは考へられ、現に内務我も大將が承諾されるまでは何回でも足を運ぶつもりだ

との意気込みである(委員は、交渉委員と意見の字垣大將)

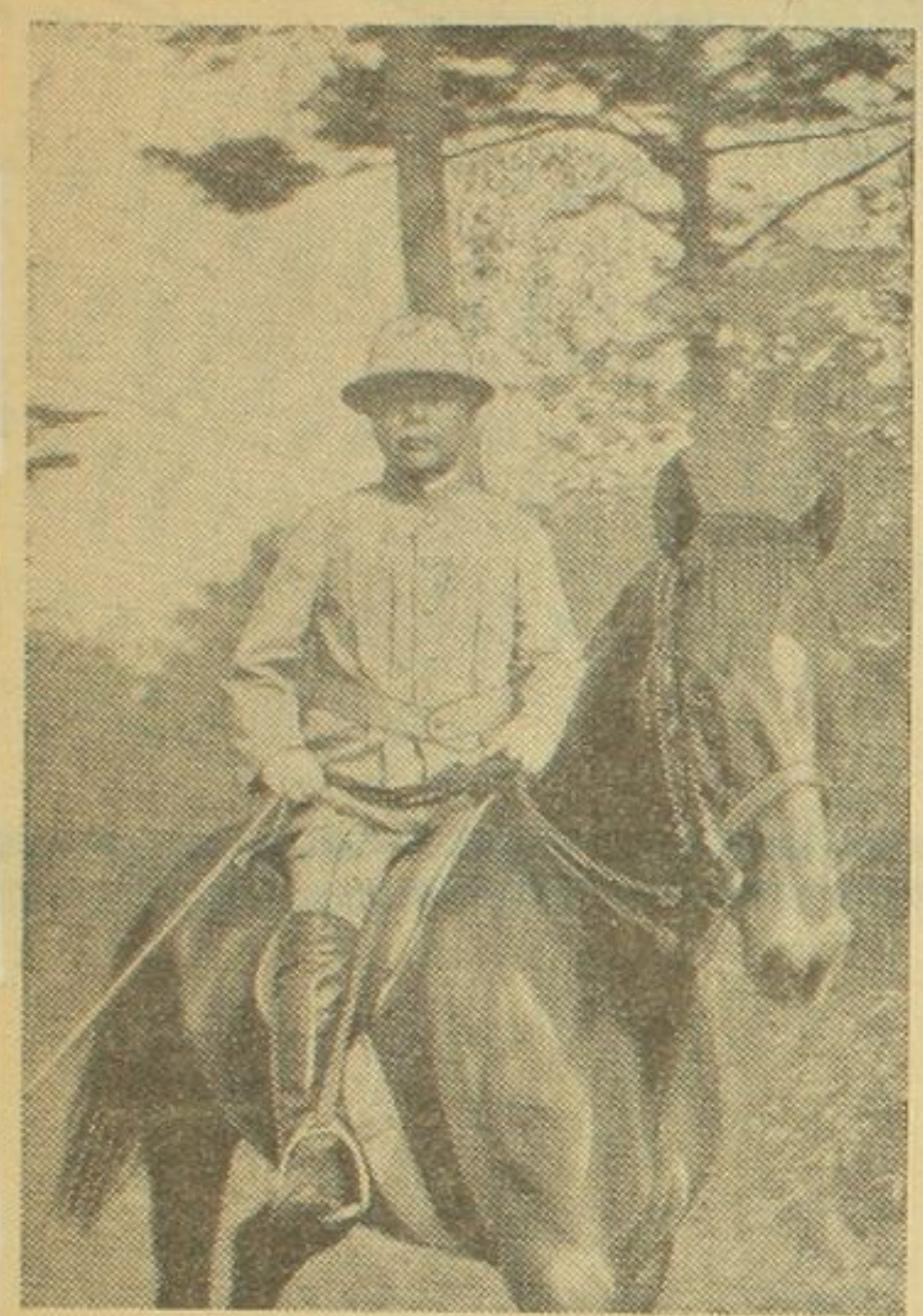


(小葉納)

# 宇垣大將愈よ馬出

## 東京版

### 時 人 宇 垣 さ ん



武藏野をどこ吹く風  
市長より馬ぢぢやヨ  
“ 颯爽たる手綱捌き ”

【立川電話】大東京の市長の椅子に坐るかどうか、再び「時の人」となつた宇垣一成大將は十五日午後二時頃、谷津や長岡渡りかなや旅館主人池田老人を伴つて久方振りで歸り一夜を明した四谷の本邸から買集の繁る地下国立の別荘に入つた、主人を迎へて別荘は急に明るくなつた、宇垣さんは春くとすく樂馬の交度だ、ヘルメット帽の下に日焼けした面頬をニコくさせながら

「立川電話】大東京の市長の椅子に坐るかどうか、再び「時の人」となつた宇垣一成大將は十五日午後二時頃、谷津や長岡渡りかなや旅館主人池田老人を伴つて久方振りで歸り一夜を明した四谷の本邸から買集の繁る地下国立の別荘に入つた、主人を迎へて別荘は急に明るくなつた、宇垣さんは春くとすく樂馬の交度だ、ヘルメット帽の下に日焼けした面頬をニコくさせながら

「立川電話】大東京の市長の椅子に坐るかどうか、再び「時の人」となつた宇垣一成大將は十五日午後二時頃、谷津や長岡渡りかなや旅館主人池田老人を伴つて久方振りで歸り一夜を明した四谷の本邸から買集の繁る地下国立の別荘に入つた、主人を迎へて別荘は急に明るくなつた、宇垣さんは春くとすく樂馬の交度だ、ヘルメット帽の下に日焼けした面頬をニコくさせながら









# 市長就任懇請に 宇垣氏考慮を約す

## 昨夕交渉委員と會見

東京市長を決定する最後の市長銓衡委員は十五日午後二時四十分から委員出席の上市會修正會控で開會  
これに先立ち社大議員團では午前十一時から市會内同僚控室で協議の結果、安部磯雄氏を市長候補として推薦することに決定したので、委員會で安部磯雄氏を推薦し、之に對し説明クランプの黒田委員が賛成の理由を述べ、修正、市政の兩大派に宇垣候補推薦の理由を要求したが、兩派では今更説明の要なしと一蹴願いて候補銓衡の方法等について、兩大會派と社大側とで議論を蒸返して小波瀾を起したが、結局第二回委員會に中立の維持委員から

提出された丸山鶴吉、田川大吉郎兩氏を加へた四候補について採決を行つた結果  
宇垣一成氏十一票、安部磯雄氏三票、田川大吉郎二票  
となり、銓衡委員會はこゝに於て五日第一回開會以來回を重ねること五回十一日に漸く後任市長として宇垣大將を推すことに決定、直ちに松永、林正副議長及び橋本安部、修正、松嶋、有馬、市政、通業（市政革新）の七名を交渉委員に擧げ、宇垣大將の出馬を懇請すべく同日午後五時過ぎ市外國立の別荘に同大將を訪ね、市會の意向を傳へて極力承認を要請した  
これに對し宇垣大將は「一應自重、謹慎すべき時期であるゆゑお断り如く發表した

りしたいと二日拒絶したが、約四十分互つて懇談した結果十六日乃至十七日に備たる態度を表明する旨の答へを得て同五時五十分會見を終つた、市會側では再度の會見で同大將の拒絶にあつても飽くまで初志を曲げず手段を盡して大將の再考をうながす計をきめてゐる（寫眞は宇垣大將と出馬を懇請する交渉委員）

帝國の首府、世界の大都たる東京市、而も世界的大行事の多くも近くに控へ市長として推薦を蒙りますことは身に餘る光榮であり、實務の重大なるを痛感し衷心より感激致してをります、過般來所聞等を通じて銓衡の事も身に致してをりましたから市民の一人として東京市の最善の御奉公を如何に致すべきやを考慮しましたけれども、御承知の通り市政には全然経験なくまた其知識をも有してをりませぬからこの重大責務を全うし大東京の期待に副ひ得るの自信なき旨を述べましたが市代表諸君の熱烈なる御勸めもあり唯今正式交渉を受けたばかりのことでもありましたので一兩日中熱考改めて御答へするといふことで御別れ致しました

### 自信はないが 感激の至り

宇垣大將談

宇垣大將は市長職に關し市會交渉委員と委員後談話の形式で左の如く發表した

(小續)

# 豫定通りの採決 宇垣大將推薦

## 東京市長銓衡委員會

後任東京市長第五回銓衡委員會は十五日午後二時四十分開會、まづ午前中の總會で安部磯雄氏を候補として玉座的態度を決した社大側から交渉委員が安部氏を市長候補として提示、爾して黒田委員（説明員）が賛意を表し、銓衡委員會の手前上の問題につき希望意見を述べ、かくて宇垣大將、安部

磯雄、丸山鶴吉、田川大吉郎の四候補につき採決の結果  
十三票 宇垣 一成  
三票 安部 磯雄  
一票 田川大吉郎  
丸山 鶴吉  
無票

この内議は宇垣氏は修正七、市政五、革新一、安部氏は社大二票、田川氏は無所屬一票  
何度でも懇請  
市會議長談  
會後松永市會議長は語る、非常に難しい、しかしあれだけの人物に出て貰ふためには一度断られても二度でも三度でも四度でも粘つて交渉に交渉しなければ駄目だと思ふ、宇垣さんに出て貰ふことが市政刷新の第一歩ですからね、十七日午後二時から交渉委員だけ市會に集つて回答を見て断りの返事であればあの手この手八方出馬を懇請する覚悟です

### 一兩日中に回答

銓衡委員會は直に交渉委員に松永林正副議長、橋本、安部（修正）松嶋、有馬（市政）通業（革新）七氏を擧げ、一行は同日午後五時十分國立林間の宇垣氏別荘を訪ね、市代表馬を懇請した、宇垣氏は一日拒絶したが委員の懇請に「一兩日中に御返事しよう

Various small notices and advertisements in the top left corner, including names like '中野', '山崎', and '佐藤'.

洋恩答



東京大いに備へて都市視を除くといふ目的の都市実業協会も誕生したが、この機会に開演した演説や不機嫌な乗車除くことも、悪くはないけれど、市政を立派にするのが何より大切だ。▲正義のメス、職の制を導きさせるロンドン市長に劣らぬわが東京市長として、總理大臣級の人物を推すといふ都市実業協会の方針でない、宇垣大将なら市會議員を押しつける市民的野望があり得る。いはゞ米國式の直接公選でも、宇垣大将は多数を占めると思ふ。▲だから、宇垣氏は就任を断るなら、適宜なくその信する所を断行する條件をつけることも必要だが、なつても市長の地位に未練のない人だから市會に恩をきたす、いつでも面突することを恐れない風味があり、條件なんかどうでもよいと考へられる。▲東京市は去る九日選んだ年案

市長は十萬圓の懸賞を出し、新市長が決まり助役が選任され一人當り三萬圓前後の懸賞を出すとすしになつてゐる。おまけに三月の改選に當つた市會に高一萬圓、合せて六萬圓の懸賞を贈るとか、總額廿五萬圓を高い懸賞から支出すること、近く正式に決定する。大した大懸賞だ。▲三億六千九百五萬圓の大世帯から廿五萬圓くらゐ何でもないやうだが、それが物價高で生活危機にある市民から出るのだからふことを忘れてはならぬ。▲任期満了まで在職したのは歴代市長中で牛嶋氏は三人目にとあり、選き差りにはこの功勞を著せられ、補給金付連入一面を御下賜あらせられたのは、ひとり向氏の光榮のやでないが、斯かる光榮も市長と云ふ公職なればこそで、民間の職に十萬圓の懸賞などは民間にも御が多くない。萬事この調子だと赤字財政は太るばかりだ。

大阪では二期三期を競つた藤田氏や藤田氏の三十萬圓もそれ以上も貰つた例もあるが東京市政は大阪市政とはどうも鼻眉目に見ても及ばぬ、そんなことだけ真似るだけでは、物價高に悩む市の窮乏を顧みてどうなことをしてゐるかを疑ふがよい。▲市會議員の懸賞金など前記沙汰の限り、規則があるといふがそんな規則をつくるたのは誰だ。▲懸賞などあつたにせよ、懸賞が何のかの代議士と同じになるといふお土産をした上、代議士を何年勤めても額一文ない懸賞金まで取る。呆れて物がいへぬ。こんな市會を誰が嫌ひだといはれると一言もない。▲無責任の市會が選考審査等の各目で腐敗になつてゐる六百圓返上を提唱してゐるが、懸賞金規則なども早速改定すべし。

東口 5.16  
朝日

朝日新聞

(小葉納)

五月十七日午前八時 國五井 四谷 留 之 子

午後二時半 會見 正 文 解 世 回 答 ノ 約 束

リヤム

午後二時半 松永 好 長 ヲ 芝 居 ノ 詮 衡 要 旨

七名 来 仰 新 南 道 信 証 者 十 八 名 該 ナ カ

哲 接 内 二 社 子 和 志 流 シ タ ン 七 大 将 拒 絶 シ タ ン

ヲ 以 テ 重 入 二 道 者 ナ ン

(小葉納)







Table with multiple columns and rows, likely a ledger or schedule.

# 宇垣大將再考 廿日に回答

## 後任東京市長問題

十七日午後二時四十分から、東京市會の交渉委員と會見した宇垣大將は「自分は市政に對する自信と熱意がないし、且適當な助役を求めざるを得ない」と、東京市長就任を断つた。之に對し、松永、林の正副議長初め各交渉委員は、多岐なる東京市の現狀に將來を説明して「是非出馬された」と更に懇請したので、宇垣大將も再考する事になり、来る二十日に回答を約して午後四時會見を終つた。前宇垣大將から再考を約された東京市會では十八日午後一時から市會控室で交渉委員を聞きし問答を行つた。今後の交渉を断絶し、更に交渉委員を分けて大將就任者に積極的に瞭解運動を續けて所期の貫徹を期することとなつた。前宇垣大將は左の如く語つた。

去る十五日市會代表者に考案を約した後、各方面の知人を始め見ず知らずの他人からも市長になれとて手紙、電報電話或は直接訪ねて來られて助告されるのには感激してゐる。来る二十日に再び懇請したが市政に對する無智無識からいへば全然市長の器ではない、然し市政に通過し、切り盛りして援助してくれ人でもあればと考へて見たが、私の知合には新擧な人がない、それを出馬しても自信がないのでお断りした。斯る事は市民の信頼に背くやうにも見えるが却つて市民に感服する所以であらうと思つた。併し今日代表者から十五日聞いた以上の話もあり、初耳の事もあつたので、市會代表者へ「宇垣、宇垣といはずは適當な人について十分説明してほしい、私も再考しよう」と約して二十日午前中にお客へする事にした。

# 翻意懇請に對し 廿日最後の回答

## 宇垣大將の出馬困難

### 欠陥を補ふべき 援助者がなくて

#### 會見後宇垣大將語る

松永、林の市會正副議長を初め後任市會交渉委員の代表者達と十七日午後四時の本會で會見した宇垣大將は「自分は市政に何等の熱意も感服知識もないから」との動向を説明し、更に「自分のこの欠陥を補ふ適當の援助者があるならばと知り合の中を見たら見當らなかつた」とつけ加へ再び市長就任拒絶の回答を行つた。これに對し交渉委員は「この際是非出馬を」と再考を促した結果「それでは廿日午後また會はう」といふことになり第二次會見を終つた。市會側では適當な援助者(助役を

考へたのであります、自分みづからがその器でない以上、この欠陥を補ふ他に適當な援助者もあるならばと知合の中を見てみたらどうも見當らず、出ても仕様がなと思つて出馬断絶をいたしました。かうすることは一

時は市民の期待にそむくだらうが、かへつてそれが市民に忠實なゆゑと考へます、爾が代表者達から言われて懸望され、それではみづからも今一度考慮して見ると市會の方でも他に適當な候補者を考へ直して見つけて



宇垣大將と市長詮衡委員會見  
〔會見は向つて左より松浦市議、宇垣大將、道家市議、松永市會議長、櫻井市會事務局長〕

(小葉納)

宇垣大將と市長詮衡委員會見  
〔写真は向つて左より松岡市議、宇垣大將、道原市議、松永市會議長、櫻井市會事務局長〕



(小築納)

# 翻意懇請に對し 廿日最後の回答

## 宇垣大將の出馬困難

指すものと見られる。があるなら、大將の心算には何等變化は  
との言葉に一服の望みをかけて、ないものと見られてゐる。

欠陥を補ふべき  
援助者がなくて  
會見後宇垣大將語る

松永、櫻の市會正副議長を初め後  
任市會評議員の代表者達と十  
七日午後四谷の本邸で會見した宇  
垣大將は「自分は市政に何等の  
も感傷知識もないから」との動  
會見の辭退理由に更に「自分のこ  
の欠陥を補ふ適當の援助者がある  
ならばと知り合の中を見れば、當  
らなかつた」とつけ加へ再び市長  
就任拒絶の回答を行った。これに  
對し交渉委員は「この際是非出馬  
を」と再考慮を促した結果、「それ  
では廿日午後三時三十分といふ  
ことになり第二次會見を終つた。  
市會側では適當な援助者(助役を

考へたのであります。自分みづ  
からがその器でない以上、この  
欠陥を補ふ他に適當な援助者も  
あるならばと知合の中を見ても  
たがどうも見當らず、出ても仕  
標がないと思つて出馬辭退をい  
たしました。かうすることは一

時は市民の期待をむくだけう  
が、かへつてそれが市民に忠實  
なゆゑと考へます。處が代表  
者達から重ねて懇望され、それ  
ではみづからも今一度考慮して  
見るから市會の方でも他に適當  
な候補者を考へ直して見つけて

もらひたいと申上げました  
大將を傷けるな  
さかな屋主人の發言  
宇垣大將がいよいよ市長候補に  
かつがれたと聞いた際の伊豆長  
岡温泉のさかな屋主人、早速

けつけて大將を傷つけるやうな  
ことがあつてはならぬと極力就  
任を凍止した。大將の首をひわつ  
て市長になると、長岡へ行って  
君と敵歩が出来んから」とい  
意味深長の一語

# 出てくれ宇垣さん 側面攻撃を開始

## 市長交渉 市側の頑張り



松永市長と宇垣大將の談話の様子

ついで大將の側面攻撃を開始するらしい。

松永市長は、宇垣大將は自分を助ける市政に通じた働きがあればとのことだったが、大將の周囲にはどうした適任者がみつくとある。

### 感激しました、が

#### 宇垣大將朗讀談話

「はからずも私が市長の候補に推されるや全く未知の市民諸君から是非とも就任しろといふお勧めがありそれが手紙で、電話で、電話で、時には来訪されての熱意にまつた感激を高めました。しかし私のごく市政に無経験では、大東京の市長の器ではなし、また私を助けて市政事務の切り盛りをする援助者もあつたらばとも考へたが、適当な人もなし、これではたとへ出馬しても到底軍需に任

十七日午後に行はれた市長候補の宇垣大將と松永市長は、六名の市側交渉委員との意見は正味一時間かゝつて同三時四十五分までをこぼしたが、この意見の整理一階階する旨を告げた大將も席上から市長就任方を断絶した市側の熱意に動かされてついに再度の考慮をなし明後廿日に三たび意見して最後の回答をすることを約束、こゝにさらに延引された結論への期待にまた脚を踏らせながら四谷区内藤町の大將邸を引きあげた交渉委員一行はその足で午後四時四十五分、市買事務所に會合協議の結果十八日午前十一時から市會正會堂で市長候補委員會を開いて十四日交渉委員が宇垣大將訪問以来の経過を中間報告、廿日午前には更に交渉委員を開いた後宇垣大將との意見に向ふことに決定した。

十七日午後に行はれた市長候補の宇垣大將と松永市長は、六名の市側交渉委員との意見は正味一時間かゝつて同三時四十五分までをこぼしたが、この意見の整理一階階する旨を告げた大將も席上から市長就任方を断絶した市側の熱意に動かされてついに再度の考慮をなし明後廿日に三たび意見して最後の回答をすることを約束、こゝにさらに延引された結論への期待にまた脚を踏らせながら四谷区内藤町の大將邸を引きあげた交渉委員一行はその足で午後四時四十五分、市買事務所に會合協議の結果十八日午前十一時から市會正會堂で市長候補委員會を開いて十四日交渉委員が宇垣大將訪問以来の経過を中間報告、廿日午前には更に交渉委員を開いた後宇垣大將との意見に向ふことに決定した。

する自信がない、結局熱度三日の未だ断りするより他になかつたわけだ、このお断り申上げが、いよいよ、一時は市民のこゝろを反するやうな傾向にも存するが、しかし知つてこれが市民への活潑な道と信じてあるわけだ、」  
「たゞ大將はこの日夕方また府下國立の別邸へビック州六年型を飛ばして歸つた。

(小染納)







むつつり宇垣さん けさ市役所にて  
芝原は松永議長

宇垣大將はついに東京市長を引退  
けなかつた。三顧の禮をつくして  
けさこまは色も、返事を持ち  
ちかてゐる市會の交渉委員連へ最  
後の正式回答の廿日、毎日未だも  
らつてはすまない。宇垣大將は美  
理殿、この朝十一時、生れて初め  
ての市役所前庭に車を停つた。一  
待ちかねた芝原議長に招かれ  
て事務所二階議長室へ入つた。宇  
垣大將は「ホウ、これが議長室か  
ね」と

「まあ、来るのはよいが、ほん  
との所はもう、あまり来ないで  
欲しいな」  
と笑つて四谷の自邸へ引上げた。  
口説き落し惜むた  
市會 交渉委員は直ちに事  
務局内市會事務室に集合。今後の出  
方を協議したが、もう一度懇りす  
に宇垣大將へ押しかけることになら  
ない。

明廿一日 柴又帝釋天  
あひまる

# 宇垣さん遂に起たず 「自信がない」一本槍 けさ市側へ回答

## 交渉委員「四顧」の禮か

# 宇垣さん引出しに

## 市會各派の側面運動

### 二十日までの動き注目さる

5/19  
朝日

二十日の宇垣氏の回答を前にして、東京市會では十八日午後一時半から市會各派に活動委員を開き、松永議長から活動報告を行ひ、午後一時半、市會各派の代表者を集めて市會の意向を協議した。

市會 内部では、市會各派の代表者が相半ばし、何等かの形式で市會の意向を協議しようとする動きが、先づ宇垣氏引退の先頭を切つた。市會の各派は、何等の形式で市會の意向を協議しようとする動きが、先づ宇垣氏引退の先頭を切つた。市會の各派は、何等の形式で市會の意向を協議しようとする動きが、先づ宇垣氏引退の先頭を切つた。

また、政友派市會でも、下側面運動の方法を考へて居るが、これら市會各派の意向は、市會の意向を協議しようとする動きが、先づ宇垣氏引退の先頭を切つた。

(小築納)





# 大將自ら市へ乗込み 鄭重に就任を拒絶す 會見十分・最後の止め



## 議長室を見渡し こぼけた質問

### 交渉委員連断念せず、更に 側近者へ潜行運動

議長室 に入つてひとわり「やアきのふは御苦労さま」と、委員連に愛語をふりまいた。

ち、どういふわけか「これが議事録ですか」といふ奇問、わるく考へれば市政に暗い影を落とす十一時だつたかも知れんが、「いや議長室です」に「ホ、ウ」と感心の

手許には是非承諾せよとの勧告書、キ團體の決議であり感涙をいよましているが諸君と別れて三日熟考に熟考を重ねたもの、初めに申上げた通り自信がついて来ないからお断りするより外ない、あしからず御察されたい。

この間 十分、委員連には断言もせずさつさと大將は非難げ何事も断らず四谷の私邸に歸つた、委員連の度々の訪問に感ぜられた字垣さんは所用にかこつけ市會まで来て断意を見せたお断りをしたものである。

市會交渉委員は會見後直ちに革正會室に委員會を開き種々協議したが、宇垣大將退き出しはなは断念せず廿一日午前九時から交渉委員十三名が手分けして、今井田、砂田、川崎氏等宇垣大將の側近方面をそれれん訪問、断め手からの口説きを試みることになつた。



## 宇垣氏正式拒否

### 市長候補銓衡難に陥る

後任東京市長として市會から再三就任の懇請を受けてゐる宇垣一誠大將は廿日午前自ら市役所を訪問、交渉委員と會見後、後任の可否の回答をした、交渉委員は會見後直に議事會を開いて對策を協議したが、二十名の交渉委員が手分けして

宇垣大將の外見と見られる今井田清徳、川崎克、池田宏、砂田重政、次田大三郎、松本學、清浦圭吾、安田盛一、林三吉、古田一雄の諸氏を断言、断言より再度の口説き直し断言を試みることになつたが結局断言を断されてゐる。

切つて改めて新候補者の銓衡に入るものと見られる、然し宇垣氏の後任にその断言は形勢に困難で成行によつては、民衆派の内訌も表面化し大波瀾は免れず決定迄には相當の時日を要するものと懸想される(會見市役所訪問の手垣氏)

(小津納)



## 宇垣氏正式拒否

### 市長候補銓衡難に陥る

宇垣大將の外訃と見られる令井田清徳、川崎寛、池田友、砂田重政、次田大三郎、松本學、酒浦圭吾、安井龍一郎、林三吉、古島一雄の諸氏を薦請し、手取り再度の口説き落しに奮闘を試みることにしたが結局絶望を感ずる。宇垣大將の外訃と見られる令井田清徳、川崎寛、池田友、砂田重政、次田大三郎、松本學、酒浦圭吾、安井龍一郎、林三吉、古島一雄の諸氏を薦請し、手取り再度の口説き落しに奮闘を試みることにしたが結局絶望を感ずる。宇垣大將の外訃と見られる令井田清徳、川崎寛、池田友、砂田重政、次田大三郎、松本學、酒浦圭吾、安井龍一郎、林三吉、古島一雄の諸氏を薦請し、手取り再度の口説き落しに奮闘を試みることにしたが結局絶望を感ずる。

(小築納)

# 大將自ら市へ乗込み 鄭重に就任を拒絶す 會見十分・最後の止め



重むて市長就任を懸望されてきた宇垣大將は、廿日自邸から東野市會を訪れ、顧問の「自衛がない」と同じ理由で鄭重に拒絶、最後は廿四日の私邸で行はれ、大將の最後の断言を聞く筈であったが、この朝九時大將は松本市會議長宛「宅に来て貰つてお断りした。この朝九時あるし十一時に市會へお伺ひしたい」と電話した。「市役所はやつぱり丸ノ内かわ」といふ程度で未だ一度も市役所内に入ったことのない大將は午後十一時五分矢野秘書を同乗、自動車で市役所正門を入ると、遺囑内の池田市會議事部長の車について立脚をちらと横目で見たまま、すぐ裏に廻り市會議事室を離れに降りた。

【宮眞、市會議長室の宇垣大將、その右林前六百萬市民の熱望と市會の懇望とはいまお断りになられたも「それでは止むを得ない」と引下がるわけに行かない、今後も御迷惑でもお上するかも知れませんからよろしくお断り】

公とオ内ン

Various small advertisements and notices, including one for a woman's portrait and another for a business.

南洋新聞

草魚糸香

# 宇垣大將禮を正し 再び就任を拒絶

## 後任市長人選新規時直し 第二階段へ銓衡委員会



「市議に自信が無い」と去る十五日の市議員に市長就任を拒絶した宇垣大將は再考を懇請され廿日再會見を許してゐるが午前九時松本議長に電話をもつて

「下町方面に用事があるので午前十一時市會にお伺ひしお目にかけたい」と面會を求めて来た、恐縮した議長は早速松本議長外七名の交渉委員を市會事務局に

### 急遽 招集し待つてゐると

午前十一時十分大將は元氣のいい、諸君にたい合の背服で市會議長室に現れ議長以下の委員と會見

「市民諸君の御好意且つまた市會議員諸君の自分に對する御厚意、殊に市民諸君から是非市長になれと勸告書を書せられたり團體の決議文を持参されたりして自分としては感激の至りである、然し最初から申上げた通り自信が無いのでお断りする外はない」とはつきり断じたので、松本議長は「六百万市民、市會全體の厚望を以て」と

であるから今後大將の運動を断つて下さり、御座下さし」となほ大將の出馬を促したが大將は「私がこれだけつくりお断りしてゐるのだからこれ以上無理をいはなくてもいいだらう」と突ひつら會見十五分を過ぎた市會では早速銓衡委員会を際ぎ選後策を講ずることになつたが、わざと大將自ら出向いて禮を正して

### 謝絶

に委員會としてもはやこれ以上、執拗に大將の出馬を促すことも出来ず去る十日大將が働き出されてから十日で宇垣市長就任は遂に解消され、委員會は第二の段階に入ることになつた(實はその會見)

め小規模から組合本部に對し常に苦情を述べ込んで来て組合として溶けず加入をすゝめて来たもので遂に法律手段に訴へることになつたのである。

(小葉納)

# 宇垣大將「アテ馬」劇

## 覆面を看破られ 思ふ壺の「市政ボス」 明暗相剋多難の市長

「宇垣市長も遂にアテ馬に終つた。明暗相剋、明暗相剋の道徳に堪へきれない宇垣市長が世間の人気を再び新たにした點と、小ボス市政の醜態を背負ふ少壯に立ち登つた、それが右三會派總會の大將出馬運動となり、競選の内心の苦悶に頓着なく、局面はドン／＼進展して再三、再四、出馬後進を見たのである。

情勢打診を進める間に市會が舊態依然としてボス勢力の支配下にあり、表面の懇請運動の底流は出馬阻止の逆流であるのが判明、さらに助役の居居り運動等もあり當初出馬を勧告せる二、三有力側近者は市會の不面目を託すべきで市政には惜しい、直ちに交渉を打ち切らうと提議した、この一言に熱心な支持者の一人が憤然をなし立派な人物こそ市政刷新のため必要なのではないか」と激論の末つかみ合ひまで始めんとした松本議長が現れた、交渉委員にさへかうした人物が加はつてゐるは表面と裏とは異なることを示し懸しようとも大將が出馬を拒絶するのは當然であらう

民政改革正會には右の如き交渉委員があり、さらにこれを繰る背後ボスの活潑な暗躍があつた、一方政友派の市會の内情も同然で、大將の出馬絶望、熱意披瀝の必要性がますます痛感されて来た時、一市議から出馬懇請を決断すべき緊急總會召集の要求に接した幹部は狼狽その極に達してそれ以後は……と進めるに急であつたのはユートラスな一面であつた、これは背後勢力への氣がねから急進論者の推言に應ずつたのであつた

かくて舞台はアテ馬宇垣大將の退却でかねて置かれた軌道に還り市

### 海軍辭令(廿日)

海軍省令(廿日)  
海軍省令(廿日)  
海軍省令(廿日)





以下  
6丁  
白紙

月  
洋  
恩  
督  
府

朝  
魚  
總  
書  
庫

(小  
藥  
納)

(小葉納)

昭和十二年五月十五日

至令二十日

東京市長就任

敬

勵



草  
魚  
絲  
香  
片

(小藥箱)

揖

呈 今回市長選與守ニ当リ

閣下ニ對シ委員一致ノ推選ノ様ニ  
申及ト閣下ニ對シテハ全市民カ  
弟一人者トシテ布<sup>望</sup>スル処デ有外  
他ニ市長ニヤリ度人ハ澤山有外  
ガ其ハ只名譽<sup>言</sup>ノ爲ニヤリ度ニカクテ  
伏魔殿ヲ清掃シテ市民ノ幸福  
ヲ計ルト云フデヤク自分ノ利慾<sup>心</sup>ノ爲ヤリ  
右様ノカクニ生<sup>シ</sup>ラシメラデハ百年所清  
ヲ待ツ様ナモノデ東京市不名<sup>譽</sup>言

否日本ノ不名譽言初民ノ迷惑ハ勿論  
陛下ニ迄ハ心死ス哉日本全体ノ  
不幸デ有キ国家ニ盡サレトハ必ス  
シモ總理大臣ニ限リマセン前ニ朝鮮ニ  
治セキヲ與テラレタノモ日本全体ノ幸福ニテ  
ツテ居リマス切成リ名譽デタ陛下有  
ガ末壯健ノ陛下陛下ヘノ忠誠カラハ  
デモ出馬致サルガ陛下ノ道テ有ト愚  
考致シマス特ニ全市民否全國民ノ  
渴望アルニ於テオヤ希クバ

陛下煩路ヲアヤマレザラニテハ

致シマス

尚ホ出馬ノ上ハ伏魔夜ノ征バツハ  
美ヲ勤ヲ批ミテハ所変シマス全國民  
ノ後撰アル陛下ニ外ズンバ目下ノ他ニ  
出来方ハ見当リマセン

段々ニ市政ノ改良ニテ市議員ノ權限  
ニ縮少シ將來彼ホガ悪心事ノ出来又  
様ニハ盡カマラン事並テハ取  
レマス







日の解着と市民の期待は深ふやうに和せける  
所を祈りよらば

五月十日

山本久子

宇垣右衛門殿

新東京市長宇垣一成閣下

菊池盛太郎



私は東京市京橋區に生れ即ち生粹の東京ツ子であります

滋賀、鳥取の二縣に奉職した外は比叺東京に於て生活し生業して居る譯ですから東京市民としては市の事業の凡てに知悉して東京市をア、もしたい斯うもして見たいと腦中の所謂腹案

I.

は實に山積して有り餘る程改善意見を持つて居ります

加ふるに歐米外各地を視察旅行も遂げ此間米國ニニューヨーク市コロムビア大齣子テイチアースカレツヂをも修了語學と音樂は實に確信を持つて居ります

私の性格は明朗・快活でニコボン主義多くの市會議員などの操縦には持つて來いの人物で有ります

Ⅲ

特に宴會政略などをやらせたならば  
實に東京市の持つ矜りとでも言へま  
せう！

勤務は正しく明敏なる頭腦の持  
主ですから事務を片ぱしからドシク  
所置して餘裕綽々たるものがあります  
閣下よ！善く御考あれ

今迄のやうに頭のカチカチな官僚の  
古手などを助役にする時代は疾くに  
過ぎ去り新時代は新人を要求して

IV.

己みません。

殊に三年後のオリンピック東京大会日や  
日本万国博覧会日の開催に當り在界  
各地から謁集する外國來賓の接待に  
は外又下手の日本人特に役人上りの  
市吏員では中々骨の折れる次第です

閣下の先頃大命拜辞の際 小生

實に悲憤の涙を流した一人です  
料理人手の庖丁を以て済すまで

大命拜辞 悲しみにけり 口とは

V.

當時、短歌會にて口詠した短歌です

庶政一新を標榜する新時代には  
全然新人を抜擢して眞のインテリ  
吏員をして市政を介擔せしめたく  
てはなりません。その新人は即ち不肖  
菊池盛太郎などです

今迄の採用法は人に頼んで貰ふ手を  
求め因縁關係で採用して貰ふと云ふ  
遣り方であつたのですがそれでは駄目

で有用の人材ならば自己推薦でも  
かまはぬと信じます

閣下の晩年々國家への御奉公に  
一つ名乗りを上げて

閣下の驥尾に附し助役として赤誠  
以て東京市（我が生れ故郷）の為に  
大馬の勞方を採らんと茲は士心願する  
ものであります

希くは直ちに御採決あらんことを

草々謹白

初夏の候とお成申候

閣下におきき無き事清く

段々候に

昨年

此令室柄は逝去所

まに却て此所慮致す

悲心結う候し候其の

は淋々候まじり也

うらみと此推察申上候

是のうらみ此心也すめり

矣之上致す心算に候共

あふり候



そのころ清心也すゆふ  
其之上致す心算に其  
何ふ

其の位に為れ礼儀居る  
不意に其意被下る

尚今面々新聞紙上の  
由り其意事民探る

閣下之意長就任と希望

致し其意を御上

より以上之熱望致候

寸 實は其意上致し

以觀心懐中 上

の事用ひて推察は

其の礼儀と書面と

是の如く長就任

致し其意候

致し居るに申す御上

より以上子熱望致候候

待 宜は考へ上致し

以 願山懐中 上 旨

の身用ひの事 推察は

先之取旨の書面より

是れ申す長就任の事

懇 願 奉 候

敬白

五月十日

矢ヶ部 岩吉

宇垣一成

閣下

謹人御申上候

閣下者御連拜候

事度候

今春閣下大御降

御返者御心苦

事一國民

御推察申上候

居

今同新夕紙上

拜 閣下を市

お迎へ致したいと市

金金貨の者御

お迎へ致したいて市

金金の者物主

関下は今更市長

あるまいと思召さる

事は當然であらう

我等國民市民の

為に御心遣と目心

ましと御出馬下

候と大東系市民

先達と物事の

上力なき事と

何卒御賢慮

所願申上候

敬白

昭和十三年五月十二日

神戸市立病院の長所

神戸市立病院の長所

東の國然してありしを

我等國民市民の

為に努力して

まことに出世馬年

候と大東東市民

光榮の歩物事の

上力有る事と有

何卒所賢慮に

所願申上候

敬白

昭和十三年五月十二日

市民

園部松次郎

守垣一成大将閣下

恐惶謹みて呈上仕候

翠綠薰風の砌跡、御榮祥に渡りて

此候趣大契形事に奉存上候惟ふに

閣下は負嶺の虎にあせりて動物園の

獅子にあせりておぼるは申す迄も先

日総道楽年の際閣下と議會に御迎へ

致し度より風評の杞憂に属し申候は國

家の為洵に慶幸の至に御座候尤も去

一月小假豆狡智を弄し御進出を阻止する

や私に潜思鍊案の末矢張り閣下の銀

鞭は衆議院を指すものと思考仕居

申候當時軍部の横車に憤慨せる

若き社員等が吾れもと競り御激励

の手紙二十幾通を差上申候一會社の話

を傳知仕候美髮救急容と映画ダンス

以外に多くの好尚を有せざる如き彼等にて尚

拳を握りたる由私に涙ぐましく存申候

以外に多くの好尚を有せざる如き彼等にて尚  
拳を握りたる由私に涙ぐましく存申候  
是単なる小例に過ぎず申候へ共民庶の  
熱意愈々然として閣下に鍾まう草の風  
に偃すが如くなるべき証左と信ず申候し再  
来日浅き即今の御立候補は議會に  
千鈞の權威を加ふるに拘らず徒らに一部  
官僚軍人の小我と刺戟挑發し大呂  
の御重徳を傷くるのみならず異日の御出處  
の機を延引するの結果と招徠すると爰懼  
仕候次第に御座候次に東京市會は  
市長と閣下の御高諾と懇請する  
に決定致候趣御立候補の場合と異り  
一市民として私共も待望してしまざる所に  
御座候御承知の如く市會議員の多  
数は已に世に定評ある者にて星幕にホス  
備立し吏負亦之等に纏綿して實に  
伏魔殿の祿に背き不申而も因龍衣の  
久しき積弊亦牢固なるもの有之候へや  
皇紀二千六百年の盛典と前し抜本  
塞源市政の整革と圖り整軍敷の下と  
明化し帝都の面目を一刷新市民の福祉

塞源市政の整頓を圖り、鞏固の下と

明化し、帝都の面目を一刷新し、市民の福祉

と進め、醇平なる理想境を建設し、住

よき東京一再創造の實現と見るは、閣下の

御出馬によりて、始めて可能事と有之、大なる

御奉公と存申候、勿論市政の権柄は

閣下には、両手と以て握らせらるべきものに之

牛刀の感あるべく候、輔佐に俊秀の

助役を配置せられ、自らは大市長名市長

彼のロンドン市長の態と御持し遊ばれ度と

存上申候、稽古に、周公恐懼流言の

日と申候事と有之、陽に市長とて行ひ

澄みたる聖者と擬せられ、陰に大政變

理の縦横の畫策と遊ばる、韜晦境

掩覆物とて、且更に御門下部党衆の

休息所とて、市長御就任は極めて有

意義の事と奉存候、かゝるに政治家が國

民の視聽より遠かり候は、喜ぶべき事に無之

殊に大隈は市に隠るも申候は、恬々乎淡

々如とて、枉げて御蹶起せられん事と翹望

し、こみ不申候、叔翻て又総選挙の結果

は政府に宜しからず、内閣も過去の半存半



殊に大隈は市に隠るも申候は恬々乎淡々如く枉げて御蹶起あせせん事と翹望しよこみ不申候 叔翻て又総選挙の結果は政府に宜しからず内閣も過去の半吞半吐の態度を改めて如何なる手法に出づるや又一方政黨側もスクラムを組み一舉手直押に打倒に邁進し得る政局の推移遽かに豫断を許し不申候 由来聯合軍の弱兵は其結束の紐帯 華がさぶらに有之候 曠日彌久せば中央突破も個々撃ち破る隙隙を索出する機会なきにあらずと思はれ申候 況んや利害に感情に幾多の杆格を有る政民西派が而も統率一人なりとよく釋然提携の歩調を一に得る機会なき能はる所に御座候 亦は際此方面に閣下が暗に一指と御禁め遊せん傀儡の糸と御束ま遊せん事と切に待望仕候 申述せしむる國家は何れの時代に於る偉材と要求致候と及に錐は必や穎脱仕候や且時勢の轉遷は極め候速に御座候 閣下は天下の重器 縦一野鶴と伴ひ遊せん御念願に候と國家は永く御悠遊を諾ひ申さざる候 嘗て四五年前閣下御渡御

閣下は天下の重器、縦一野鶴と伴ひ遊さ  
れん御念願に候も、國家は永く御悠遊と諾  
ひ申さざらん候。嘗て四五年前、閣下御渡難  
の折、私小原玄之氏に托し、数丈と越ゆる長  
谷、卑翰と呈上し、披陳仕候愚見と今  
日、尚把持致申候。惟みに閣下は大局  
統合の上に立たせしめ、日本は閣下の御出願に  
より匡救せしめんと存申候。大旆と進め、  
事前第一着の布石とて、政民其他の連繫  
の御黙導は決し、徒再にも之と確信仕候。  
遮莫英雄閑日月あり、昨秋御情吟に入  
り候伊豆長岡の柿の實、「塩柿の静かに  
年を送りいづれは熟柿となりて、天下と共に  
閣下の御崇手中に落るものと存せられ申候。今  
時に新緑生るの柿若葉、幸に御玉付  
と拜誦する事と得申候。は光榮無上の  
次第に奉存候。實は小原氏と通じ、賤書  
献上可致し、若し御座候處、事、唐突に有  
之候為、不得已、平再々禮に直接捧呈  
虎威と瀆し申候。何平哉、重き御寛  
恕被下度奉悃願候。尚小原氏へは不取  
敢御詫致還申候。先は躍進日本の為  
僭越を不顧、献芹の至衰と具述仕度如

遮莫英雄閑日月あり昨秋御情吟に入  
り候伊豆長岡の柿の實「塩柿の静かに  
年と送りいづれは熟柿となりて天下と共に  
岡下の御崇手中に落るるも存せられ申候今  
時に新緑生るの柿若葉幸に御玉付  
と拜誦する事と得申候は光榮各上の  
次第に奉存候 實は小原氏と通じり賤書  
献上可致は若に御座候處 事 唐突に有  
之候為 不得已 卒再々禮に直接捧呈  
虎威を瀆し申候段何卒幾重も御寛  
恕被下度奉 惻願候尚小原氏へは不取  
敢御詫致還申候 先は謹進日本の為  
替越え不顧敵芥の至衷を具述仕度如  
形御座候也、敬白

五月十二日

青木幹定

宇垣大将閣下

毛尻皮下

相功新録後

益々清静

世に於て一

之服の徳

豊に際して

何特にながら

合精と具

以てふ不

清の法

名を起る

一

徳の海軍は  
年々老老と  
此一五十年  
この上は  
と云ふ事  
中  
可し  
中  
侍  
本  
百何  
と  
治  
と

トシタリ

次ニ少中

上ノモ

トシタリ

最近

東京

裁

有之

際

絶

き

所

関

の

き 標 坊 宗 休

神 能 多 行

関 二 夜 以 隨 一

の 大 人 也 云 下

伴 豆 子 夫 二 空

脾 腕 也 二 以 二 心

了 一 即 古 五 出

の 為 先 二 行 一

川 邊 矣 也 中 也

今 法 一 事 一 多

か 合 以 二 心 念 感

其 心 也 是 也

先 十 一 招 中 上

良 也 也 也 也 也

其衣如也

月

先生之知中上

夜如也其志也

時年極少

自是至自愛

于其位處也

保持也其先

用也其新

其也其

其也

其也

其也

其也



自是亦自壽。

于何處生

保持也心先

用一切祈

廣百

教員

五月

中華大書

定地開心





謹テ御願申マヌ  
我等

六百万 東京市民

閣下 東京市長

御受諾下サルコトヲ

神様ニ御祈リ申シ

上ゲテ 居リマス 私

本日早朝 一誠以テ

明治神宮ニ祈願ヲ

イタシマシタ

閣下何分

東京市長御受諾下

サルコト 謹テ御願申シマス

昭和十二年五月十六日

東京市王子区上野条町三九〇番地

陸軍後備步兵上等兵

島田利政

閣下東京市長ヲ  
御受諾下サルコトヲ  
神様ニ御祈リ申シ  
上ゲテ居リマス  
本日早朝一誠以テ  
明治神宮ニ祈願ヲ

イタシマシタ

閣下何分

東京市長御受諾下  
ルコト謹テ御願申シマス

昭和十二年五月十六日

東京市王子區千代田三九〇番地  
陸軍後備歩兵上等兵  
島田利政

宇垣一成閣下

陸軍大臣と志士の信口内閣にせしむるはをふやせり  
多時政界人は好むと閣下は後の動向を  
割目し閣下の胸中を探るとはする動向を  
記者と共にしるは多し閣下の御言は其力  
如きをありやしむ

おに政黨の總裁 馬鹿 我輩は當分

政黨を拂て悠々自適か

No. 1  
私は之を多し一般社会人は夜を日に  
増し負之者をもし見る時を多し  
かた 然し御自身は悠々自適を多し  
か社会に對する 抱きある 讓歩の如く  
若くは所を以て 閣下の内閣が悪む 友人が悪む  
新々は有政者が悪む 眞面目にふい。



No. 3

岸桓一成閣下

花職おとしし花柳お事のおり得るものなほおは  
 然し閣下そこより閣下自身花柳生かすは  
 思ふに花うれお事おとせり 意中一更におあり  
 許言はす一 閣下は自思及下を以て世一喜  
 申向疎かにおとせり 人お御人とはある  
 事世人 お高人の私する許を以ておはは例  
 に花を 時はおにかの由中何れをさして頂  
 度いせまへに 以て慕ふ中しおしおし  
 一人をいせまへに 祝年お祈しを祈る

五月廿三日

山岡廣吉



郵便はがき



東京市四谷区

内務省  
逓信局長

宇垣一成閣下  
御為

玉案下



覆

康平書院就修成坊

芝原新ノ味ノ昔ノ味

敬白

之 指法造人 名号

指法造人 名号 三下末 五七

筆名

石橋之市 叔

歩合各々ありて是の端に上り我事  
大系系たるは腐下と云はれし  
事心下所そ居るも此の  
市長銓衡會で全會一致の  
推薦に成り誠心下事會の  
一可組會の失敗は  
政界再起の疑ふ哀愁の念に  
感ずるは初愈希都大市長  
乃移るに擬すも事會  
欽快の耐えきん  
有るは事會の事

五月十六日

井合備三

亭垣閣下

一〇三  
二五 テンノウジ  
エキ  
八一  
コニ、四九

ナイトウチヨウ  
ウカキカズ シゲ

四谷126



ゼ ヒシヨダ クコンセイニイガ タケンオサカユウシ

是非承諾懇請

新潟縣尾板有志

コニ、一九

謹で閣下に一書目を送  
上致します。

昨今新紙の傳ふる所に  
依れば市會の大多數は  
閣下も我が大東京市長  
に推挙すべしと見てありやう  
であります。

閣下におかせられ申しては市

國にこそせんかあはし  
いせふ  
に海軍の兵士も  
國に兵士大隊を  
送らば兵士大隊を  
送らば兵士大隊を  
送らば兵士大隊を  
送らば兵士大隊を  
送らば兵士大隊を  
送らば兵士大隊を

會滿場一致の推薦に非  
ざればあらず諾ふいのかも  
れませんが、黨派の關係上  
滿場一致は、或いは不可能か  
も知れませんが、併し  
閣下。閣下に於て一意見  
奉公の御恩召があったら  
此際是非市會多數の







死一着市令多救の推  
競争が實現の境には  
あり手諾の上市政明朗  
化に傳家のの鑛力を振  
ゆるんことを記心願  
留筆 次中であ社  
五月十日

五月十日

忍指謹言



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines across the right page.

Handwritten text, possibly a title or a specific phrase, located in the middle of the right page.

Handwritten text, possibly a signature or a date, located at the bottom of the right page.

口占二句

風薰，良之。

大鵬待之。

佳之，善之。尊之。

Handwritten text in a cursive script, possibly a mix of Latin and another language, located in the upper right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle right section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower middle section of the page.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower left section of the page.

拜啓

市會の詮衡委員が

宇垣閣下を市長に

推戴する事に決定

御就任方懇望中の由

心から御喜び申してをります

東京市内には大學、文芸

二十餘校あり、全國の

それの約半数を占め

専門學校並に著名な

男女中等學校數

百校以上を算じて

百校以上を算出して

をります 小生は誌上

に報道され居ます

重要理由の外に

教育上の見地から

青年学徒が崇敬する

宇垣閣下の御就任と

切望致してをります

時節柄御自愛と祈ります

敬具

五月十六日 金 爽 榮

矢野 様

貴案下

閣下

御健康を國家の爲に  
津慶申上ます市長には  
即ち就任し下さる重責を  
市民はかりが支持しませ  
の下はありませぬ國民大多  
數が支持しし丹りませぬ  
國家の爲に大ニ活動しし

下さる御健康を多  
國民が津祈申上る  
まうす

五月十日

二宮 協幸

宇垣閣下

謹んで宇垣一成大将閣下には

一書を捧呈仕候野生儀西丈

の身をして閣下の尊嚴を冒し

奉る段何ぞ御宥恕奉願上候

此度は三万方市民の熱望不台

九千万國民の輿望を以て

大東京市長就任を懇請せられ

たる閣下、此際は総ての關聯

を顧慮せらるゝ要ふし今度

亦是は断然出馬せられ市民の

為め邦家のため閣下の大経倫を

市政の上に実行せられ當ては

閣下に対し冷感ありし人々にも

閣下の偉大の偉大さ、赤誠を認



為め邦家のため厚下の大経倫を

市政の上に実行せよ此等には

閣下に対し冷感ありし人々にも

閣下の良の偉大さ、赤誠を認

識せられん人事切に切に奉懇心

願候

實は過般素再が由書面認め候

（共今うらまを呈上を躊躇致し

居候共今固は已むにや子

れず重々の御無禮を不顧衷

情の一端を披擲し

閣下の御出馬を奉懇款次第

に由座候

過般の事、當時實に残念至

極筆舌に盡す能はざるもの

有之候共如何ともする能はず

今日に及び候願はしは

閣下、閣下の後には國民の聲なき

聲後あり、現下の政狀斯く

有之候人共如何と申す能はず  
今日に及び候 願はしは

閣下閣下の後には國民の聲なき  
聲後あり、現下の政狀斯く

の如し、國家の爲め益々御自重  
御自慶平祈萬禱の至りに  
堪えざる候

御繁多の折柄中尊覺と云し  
失礼の段重なり奉深謝候  
恐惶謹言

五月十六日

小勝誠吉

宇垣一成大将

閣下

世評

時候柄愈々初夏が詢小と云うりきた。  
閣下にはこの後益々御健勝の由新聞  
紙にて報道せられ居ります。實に慶賀に  
堪へざるなり。

今度は閣下が十三票と云ふ絶對多數  
に市会への投票の結果が報道せられ  
居ります。是を國民の審判の正しき  
ものとす。二月の組閣閣内時軍部  
の獨裁主義の途に失敗と終らざる様  
を祈る。私達はあつた時にあつた  
を神にお祈り致す。

この時皇躬近で市會力とされり。

閣下の至誠が認識不足の國民を東京  
市民が目覚めさせた。

組閣の時も閣下の陸相時代の政見が  
あつた。成り出さず成り出さず事  
神に居ります。

急なる國民の審判は既に市会に於て  
決せられた。三月後の大行事に直  
に閣下と外に他に無かる。

是か國民の市民の本音の心境を有  
と思ひ居ります。

さうか、今迄の行辭も、私情を括こうれ  
て、今一考の上、皇朝臣の奉公も、大東京市  
に及とて、就任せられ、今迄の乱れも、市政  
に鉄軌を下り、万事を事ある、大臣と對  
し、内閣の方々の一に、思ひの成り、  
さうか、市願の一事、  
明の市政を、市民の百早く、  
安心の成り、生活の出来を得、  
市願の  
成り、

ルニ、バ、ニ、ヨリ

國家を思ふ心は、其の生るも、市階級者

心も、互に者は、有り、

市垣、閣下、  
成

関六

前々、子に蒙るべき

為の利、亦、幸甚、受、習ら

障し、東京市、長、政

選、下、附、市、層、の、大

多、数、は、関、六、を、熱

望、望、し、一、歩、り、先、に、付、き

何、卒、一、市、政、の、為、に、あ

り、系、統、を、あ、げ、一、反

立、憲、の、同、志、者、の、時、代、は、け、り、の

民、心、の、定、意、に、行、つ、て、存、在、物、と、す、り

貴、院、の、臨、裁、に、仰、ぎ、お、頼、心

主、張、せ、ら、れ、ま、す、又、大、正、十、一

年、以、来、京、東、市、會、の、後

員、と、し、て、本、年、一、三、月、か、が

立憲の同志の時代はりの  
民の忠告を行つて存物より  
党の臨裁に仰交熱心  
主張せしもの又大正一  
年以來東京市會の後  
員として本年三月あが  
市会に干渉し隨て  
市内内部の事情に  
対応せざるものなり  
存くは此の際に  
諾お仰交伏し奉  
懇ろに在り  
昭和二年三月一日

森脇源三郎

片垣一成閣下



きかは便郵

別

北

宇垣

成

待 巻

東 市 外 局 立 所







肅啓

時の益と法は祥  
に及事加矣

陳者其を突然の  
儀より共目下

東京市令議員として  
市長詮衡と委員たる  
少もの支村者の話

今回は是れ共閣下  
の法出たるを要請致

私詮衡と委員(四名を除く)  
全体の希望は有く

市令に於ては社大宛

も今流まゝ刑執力の

由は中へそれ故

か今流まゝ形執力の  
由は中しんそれ故  
着し閣下への伝承  
諾をばあゝ場々は  
このき要なき時様  
市政を不政同様  
再び大混乱を導き  
虞れなきしん  
今回の閣下擁立は  
市政の要定が期せ  
がして一致を以て  
果は有く非常  
な熱意の存す  
所と存し固より取  
るは是らぬ市長の  
一掃このため閣下  
を煩げしは向は  
妥協しは事なから

所と存に固より  
了り足らぬ市長の  
一接このため閣下  
を煩せしむは向は

恐縮に御才なきがう

市令後身の誅責の

の存す所は何卒

伏汲両お成ふ有りの際

話をは侍へかしとら

あゝ教具

五月十日

抄書貞吉

宇恒一太殿

玉書下

再自此は名を謀を

解散のめり聊か碎

易致く共幸す未

宇恒一生成殿

玉葉下

再自此は年々謀を  
解散のめり聊か碎  
易致く共幸す未  
六回目の当選を贏  
ちん是れ全くは同情  
の賜もの感銘致展  
自今等こすは兎も  
評判悪き其の閣が  
何時まで続くかとそれ  
のみあまじ居ら  
尚邦友の爲成重すも  
は自善友あらんとを  
切に祈居ら

重ねてア

平望寺園

私園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

本陣市林ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ

是ノ園下ノ郡馬出候ノ









# 木堂忌詔せば判る人欲し也 (一葉成)

今日五二五事件の満五周年日あり詔せばなる時代は  
何時にならざる事ありたゞ政民聯合の辭職勸告  
した所に分る事相争ひはなし、木堂若羽地下に墮ち  
て、**桂**を倒したもたか—と所い皆此時  
宇垣閣下の出入りも聞くまさか問題の東京市長の事  
就てはたゞせうネ、さうかと思へ早晩實現のすべき  
政民聯合閣の首班に據せしむる下文持たしむるにせう  
もこそ後者を僅の待迫せしむる所也へたに東京の  
市長にかつて前途を暗くするよりたへ今は苦難な

政愛の徳誠むしやかいは明るい、**憲政**の本義我の常なるを行  
かした方が閣下の進むべき道にほかにかと思ふべき事  
心も市長たえ決て馬鹿にしたものせはあり、**時**要かけ  
的に人氣射的、**健忘症**の國民を刺戟しやるも悪く  
はあり、**毒**が心も乏な衝氣はもろく、**閣下**は不向きせう  
たい、**徳**々と自適し、**来**やまを自ら待つべき待つる心は  
い、**自然**に其處へ落付く、**閣下**は如何思ふにせよ、  
必ず、**暎**り早かれ、**来**は日本國民の希望の太陽也、  
今は、**憎**み初めが、**和**解せしめるだけのこと、  
さて、**東京**市長問題に座り、**閣下**は如何思ふにせよ、  
七、**首相**の下なら、**ボス**市長、**三木**武者も、**かつ**が上りたら  
どうだと言ふしや、**た**はなむすか、**非**立憲と**非**常識

それと面白くせう世は正に非常時非常識時代であるから  
でも本心は誰かえ宇垣閣下に出して世にたいまふた案  
をかつお通る市議連に誠意を不従をあらわすおお  
か多のつから僕も心配なおります反対ありや

宇垣閣下が市長にあらん中一助役は誰其他は誰と  
僕には随分都合いこうかありますかそれ理想を面して  
夢想に近いものせう宇垣閣下は当然お辞退が好まると  
いせから一は有米に市長に推す人誰か

宇垣閣下も自邸が四谷にあり以上市民の一人として是非  
お考案と頂きたい心あふ不僕は今政民其他の市議連の  
話題に上るゑる誰か未だ噂にもと前日銀揚紙  
深井英五氏を最適と見しおまか如何せんせう

東京市は可んと言ふも財政難ゆから経済方面は明白  
大物心は市長には不適任かと見えあるやまか

閣下はよく國を別荘に行けしと新聞紙上に見るやまか  
僕はまだこの國を別荘を知りませぬおつたらひよつと  
部中行くも知れませぬ其時はは有念許し頂けるやうか

五月十五日

赤坂正青山南のろ六十  
廿六原小寺孝太郎

宇垣閣下  
おもと

东日既止揭字垣大物骏马之  
小照马名急花乃咏句  
事是乃五下乞大正

长鸣振怒向晴晖何重旌汝海临休  
透武花曠尔如紫小風名乃結沙化  
能飛  
暖急隨風加松寺收韉一笑思春  
邪旌知強在救时子你既晨昏接  
急花

惠州蘇東坡





不二般若道場什物 一九二七年作 人間No. 3 2.00×2.00 小林猶治郎氏筆

不  
二  
般  
若  
道  
場  
什  
物  
一  
九  
二  
七  
年  
作  
人  
間  
No.  
3  
2.00  
×  
2.00  
小  
林  
猶  
治  
郎  
氏  
筆

澹城

陳者新律、以國下卷

之陽、祥、お、所、見、如、ま、履

相、此、承、以、得、久、此、所、有、東

市、北、各、派、一、百、の、勢、隆

中、不、闕、下、一、市、是、の、新、任、を、取

一、筆、に、ま、成、北、越、大、宰、相

の、大、畧、も、藏、せ、ら、る、一、闕、下、に、は

減、の、迷、惑、を、承、り、の、平、に、お

家、は、以、得、せ、村、格、も、オ、リ、レ、

多、一、所、國、博、覽、會、記、念、二

千、六、百、年、祝、典、お、七、控、へ、東、不



千六百廿 祝典おと控へ某不

市長ハ、シロトン印長主権奉

相の貴族も物する大人物

を中初と見す時、シロトン印

に印の爲の事あらむ 詢、國

家のため、シロトン印然任道

探、遠、シロトン印、シロトン

上にお伺いの上、シロトン印

各、シロトン印、シロトン印、シロトン

を、シロトン印、シロトン印、シロトン

中、シロトン印、シロトン印、シロトン

石、シロトン印、シロトン印、シロトン

字、シロトン印、シロトン印、シロトン

小、シロトン印、シロトン印、シロトン

七也新七良十村二美三の故

二部一為の廿ある其詢一國

家一わ一極一其一川一就一任一由一其

探一遠一之一應一後一之一其一其

上も一其一其一其一其一其一其

其一其一其一其一其一其一其

七一其一其一其一其一其一其

其一其一其一其一其一其一其

其一其一其一其一其一其一其

其一其一其一其一其一其一其

其一其一其一其一其一其一其



宇垣さん

郵中の速達御座は昨より西野由郵便局宛の  
解下には蒙郵された物でもありません中央郵便局の  
取扱が私の期待に格別な出来物に成されたのを  
何事か披見の上私の御意見を承りたいと思ひま  
今朝此書を認め表出するに際し大なる意見を述べ  
思ひます

君下は現時の日本に生ける國寶であるから一身命は大抵  
あるに相違ないが大衆と共に生きようとする必要と思ひます  
君下の歩む道に懸念が途列懸念を存し其思ひを  
後ちやある道河を理むかぬきは徒らに大衆を煩はすので  
君下の徳を傷ける誤りある  
今東京市は君下を市長に推すの議ありとの報あり

No.

陛下は承諾せらるゝや否は私等の所存するべきに  
 か否下らしとは大衆に接するに實情ありは  
 大臣大将の位にある人々に対し先づ陛下が  
 聖れられ彼の教を自ら勅作とる者不快の  
 在改められ人事を切に希望する所なり  
 昭和三年五月廿九日 朝 林 益堂

近接地電報

五二

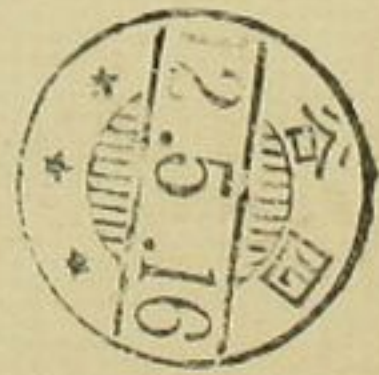
四九 オキクホ エキマヘ 一五 セー、五

ナイトウマチーノール  
ウガ キイツセイ殿

四谷 69

シセイサツシンレテイトメンモクコウジ  
シユツバ ヲコンセイスレモリタトクタロ

キ  
セー一、二四 才





祝詞

廿之五今迄所一。

又田満長

本所也昔年所一

定積り也木田一九三〇

山口県徳山市一四一

大津橋池之本所

大田又表分一四五

大田

多岐村昭後所一四四

目黒又三ヶ倉所一九

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

多岐村昭後所一四四

中一子

大及市西上土佐塔

北海通梅山之上

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

小松小全二

大及市西上土佐塔

北海通梅山之上

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔

大及市西上土佐塔





草魚絲書屏

(小藥納)